



たいさんぼく

平成30年度 学校だより3月号
小平市立小平第十三小学校
<http://www.kodaira.ed.jp/13kodaira/>

1年を振り返り、次へとつなぐ

校長 早川 和男

日ごとに太陽の日差しが暖かく感じられるようになりました。厳しい冬を耐え抜いた校庭の木々には新芽が芽生え、さわやかな春の訪れを告げているようで、気持ちも改まります。早くも明日からは、今年度の最後の月、3月です。

卒業を間近に控えた6年生の教室の廊下には「卒業まであと〇〇日」という掲示があり、残された小学校生活を大切に過ごそうという気持ちが伝わってきます。3月は6年生にとっては小学校最後の月であり、卒業の月になります。これまで十三小の良きリーダーとして、良き先輩として、学校行事やたてわり班活動などで下級生を温かく見守り、いろいろと教え牽引してくれました。

この時期は「お別れスポーツ大会」や「6年生を送る会」などの6年生の卒業に関わる一連の行事があります。「卒業」という言葉には、成すべきことを成し遂げたという意味が込められています。6年間の小学校生活で貴重な体験を積み、様々なことを学んできました。卒業を前に自分が重ねてきた学びを振り返り、自分の成長を確かめるとともに次の中学校へとつないでいってほしいと思います。一人一人がこの十三小での輝きある思い出と学習をしっかりとまとめ、成すべきことを成し遂げたと思えるように最後の日々を送ってほしいと願っています。



＜お別れスポーツ大会＞

1年生から5年生にとっては1年間のまとめを行い、進級への準備を進める時期です。1年前の4月と比べると、身長や体重のように目に見える成長だけでなく、小さな成功体験を積み重ねながら新たにできるようになったことを含めたくさんの成長があると思います。ぜひ御家庭でも家族の皆さんと一緒に数多くの成長を見付け、振り返ってみてください。学校としても子どもたちのこの1年の成長をしっかりと見取り、進級を機に次への更なる成長へとつなげていきたいと思っています。

学校のことを振り返ってみますと、今年度は開校50周年の記念すべき年でした。5月のブルーインリリースを皮切りに、記念誌の作成、航空写真の撮影などがあり、10月には開校50周年記念式典・祝賀会をつつがなく挙行することができました。開校記念の歌「十三小の校庭で」や50周年マスコットキャラクターも作りました。これもひとえに本校の子どもたちはもちろん、実行委員の皆様やそれをお手伝いくださった皆様のご協力のおかげだと心より感謝申し上げます。

また、今年度準備を進めて参りました、コミュニティ・スクールの導入ですが、平成31年度より十三小・二中の「小・中連携型のコミュニティ・スクール」としてスタートいたします。開校50周年の行事を通してお世話になった皆様方とは、これからも「地域とともにある学校」を目指して連携を深めながら、子どもたちの豊かな成長のためにも教育活動を展開していきたいと考えています。

最後になりましたが、この1年間、本校の教育活動に対しまして、多くの方々の御協力をいただきました。保護者の皆様をはじめ、学校経営協力者の皆様、学校支援ボランティアの皆様、放課後子ども教室の皆様、青少対の皆様、地域の町会自治会の皆様方。皆様の御支援がありまして、本校の教育活動が推進できましたことを心より深く御礼申し上げます。